



ユーザーガイド

© 2015 HP Development Company, L.P.

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いの製品では使用できない場合があります。一部の機能は、お使いの製品では使用できない場合があります。最新のユーザーガイドについては、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして【ドライバー&ダウンロード】を選択し、画面の説明に沿って操作します。

初版：2015 年 11 月

製品番号：827618-291

このガイドについて

このガイドでは、モニターの特長、モニターの設置方法、および技術仕様について説明します。

⚠ **警告！** 回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある危険な状況**を示します。

⚠ **注意：** 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある危険な状況**を示します。

📖 **注記：** 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。

💡 **ヒント：** タスクを完了させるために役立つヒントを示します。

HDMI™

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

この製品には HDMI（High-Definition Multimedia Interface）テクノロジーが搭載されています。

目次

1 お使いになる前に	1
安全に関する重要な情報	1
製品の特長および各部	2
特長	2
背面の各部	3
フロントパネルの各部	4
モニターの設置	4
モニター スタンドの取り付け	4
ケーブルの接続	5
モニターの調整	9
モニターの電源投入	11
しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー	12
モニター スタンドの取り外し	12
ディスプレイ本体の取り付け	13
セキュリティ ロック ケーブルの取り付け	14
2 モニターの使用	15
ソフトウェアおよびユーティリティ	15
情報ファイル	15
Image Color Matching ファイル	15
.INF および.ICM ファイルのインストール	15
オプティカル ディスクからのインストール	15
Web サイトからのダウンロード	16
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用	16
機能ボタンの割り当て	17
自動スリープモードの使用	18
3 サポートおよびトラブルシューティング	19
一般的なトラブルの解決方法	19
自動調整機能の使用 (アナログ入力)	20
画質の最適化 (アナログ入力)	21
ボタンのロックアウト	22
製品サポート	22
お問い合わせになる前に	23

シリアル番号と製品番号の位置	23
4 モニターの保守	24
保守に関するガイドライン	24
モニターの清掃	24
モニターの運搬	24
付録 A 技術仕様	25
21.5 インチ（対角長 54.6 cm）モデル	25
23 インチ（対角長 58 cm）モデル	26
プリセットディスプレイ解像度	27
21.5 インチ（対角長 54.6 cm）モデルおよび 23 インチ（対角長 58 cm）モデル	27
ユーザー モードの使用	27
省電力機能	28
付録 B ユーザー サポート	29
サポートされている支援技術	29
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	29

1 お使いになる前に

安全に関する重要な情報

お使いのモニターには外部電源コードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。モニターに接続する適切な電源コードについて詳しくは、『Product Notices』（製品に関するご注意）を参照してください。このドキュメントは、オプティカルディスクまたはドキュメントキットに収録されています。

⚠ 警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コードは常に、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。
- コンピューターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。
- 電源コードに3ピンのアタッチメントプラグがある場合は、コードを3ピンのアース（接地）された電源コンセントに接続してください。必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は重要な安全機能です。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

⚠ 注意： モニターおよびコンピューターの損傷を防ぐために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。

お使いのHP LCD モニターは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているモニター設置用の台などに設置してください。

⚠ 警告！ 化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上にLCDモニターを不用意に置いた場合、LCDモニターが倒れて怪我をするおそれがあります。

LCDモニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。

電源コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPSまたはA）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。

モニターは、手が届きやすい場所にある電源コンセントの近くに設置します。電源コードを電源コンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っばって抜かないでください。

モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。

 **注記**：この製品は、エンターテインメント目的に適しています。モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光が原因で画面の乱反射が起きることのないよう、照明を調節した環境に設置するようにしてください。

製品の特長および各部

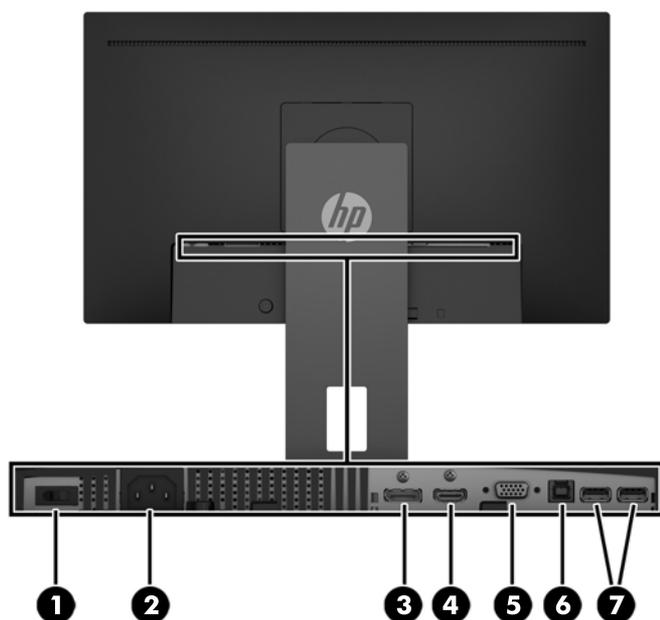
特長

このモニターの特長は以下のとおりです。

- 1920×1080 以下の解像度をサポートする、21.5 インチ（対角長 54.6 cm）の表示画面領域。オリジナルの縦横比を保ったまま、最大のサイズまで自由にイメージを拡大することも可能です
- 1920×1080 以下の解像度をサポートする、23 インチ（対角長 58 cm）の表示画面領域。オリジナルの縦横比を保ったまま、最大のサイズまで自由にイメージを拡大することも可能です
- LED バックライト付きノングレアパネル
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 傾斜角度調整機能
- 横長から縦長モードへのディスプレイ本体回転機能
- 画面の左右の向きおよび高さを調整可能
- ディスプレイ本体を固定器具に取り付ける場合に便利な取り外し可能なモニター スタンド
- DisplayPort および VGA ビデオ入力（ケーブル付属）
- HDMI（High-definition Multimedia Interface）ビデオ入力×1（ケーブルは別売）
- USB 2.0 ハブ（アップストリーム ポート（コンピューターに接続）×1、ダウンストリーム ポート（USB デバイスに接続）×2）
- モニターの USB ハブとコンピューターの USB ポートを接続する USB ケーブルが付属
- プラグアンドプレイ機能（オペレーティングシステムでサポートされる場合）
- 別売のセキュリティ ロック ケーブル用のスロットをモニターの背面に装備
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、オンスクリーンディスプレイ（OSD）による画面調節機能（複数の言語に対応）
- モニターの設定を調整して、盗難防止機能を有効にする[HP Display Assistant]ソフトウェア（モニターに付属のオプティカルディスクに収録されている『HP Display Assistant ユーザー ガイド』を参照してください）
- すべてのデジタル入力での HDCP（High-Bandwidth Digital Content Protection）によるコピー防止機能
- モニター ドライバーおよび製品の説明書が収録された『Software & Documentation』（ソフトウェアおよびドキュメンテーション）オプティカルディスクが付属
- 低消費電力の環境要件に準拠した省電力機能

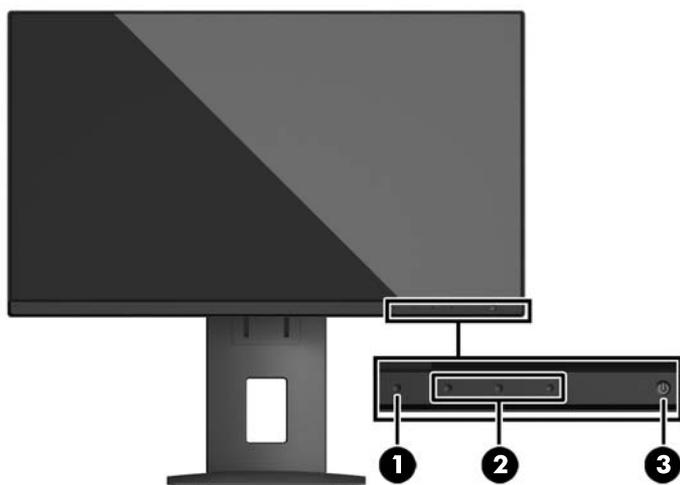
 **注記**：安全情報および規定に関する情報については、『Product Notices』（製品に関するご注意）を参照してください。このドキュメントは、オプティカルディスクまたはドキュメント キットに収録されています。お使いの製品の最新版のガイド等を確認するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして【ドライバー&ダウンロード】を選択し、画面の説明に沿って操作します。

背面の各部



名称	機能
1 主電源スイッチ	モニターすべての電源をオフにします 注記: モニターを使用していないときにこのスイッチを OFF の位置にすると、モニターの消費電力が最も低い状態になります
2 電源コネクタ	外部電源コードをモニターに接続します
3 DisplayPort	DisplayPort ケーブルをモニターに接続します
4 HDMI 入力端子	HDMI ケーブルをモニターに接続します
5 VGA コネクタ	VGA ケーブルをモニターに接続します
6 USB 2.0 アップストリームポート	入力デバイスの USB ハブケーブルをモニターに接続します
7 USB ポート	USB デバイスをモニターに接続します

フロントパネルの各部



名称	機能
1 メニュー ボタン	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの表示/非表示を切り替えます 注記: メニュー ボタンおよび機能ボタンを有効にするには、これらのボタンのどれかを押します。ボタンを押すと、ボタンのラベルが画面に表示されます
2 機能ボタン	OSD メニューを操作するときを使用します。OSD メニューを開くと、それぞれのボタンの横に、操作に関するインジケータが表示されます 注記: OSD メニューの機能ボタンを再設定して、頻繁に使用する操作をすばやく選択できます。詳しくは、 17 ページの機能ボタンの割り当て を参照してください
3 電源ボタン	モニターの電源のオン/オフを切り替えます

 **注記:** OSD メニューのシミュレーションを、HP のカスタマーセルフリペアプログラムのサービスメディアライブラリー (HP Customer Self Repair Services Media Library、<http://www.hp.com/go/sml/>、英語サイト) から見ることもできます。お使いのモニターのモデルを選択し、[On Screen Display (OSD) simulator]を選択してください。

モニターの設置

モニタースタンドの取り付け

 **注意:** LCD パネルの表面には触れないでください。パネル面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する場合があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

1. ディスプレイ本体の前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
2. スタンドのマウントプレート上部を、パネル背面にあるくぼみの上部の縁の下にスライドさせます (1)。

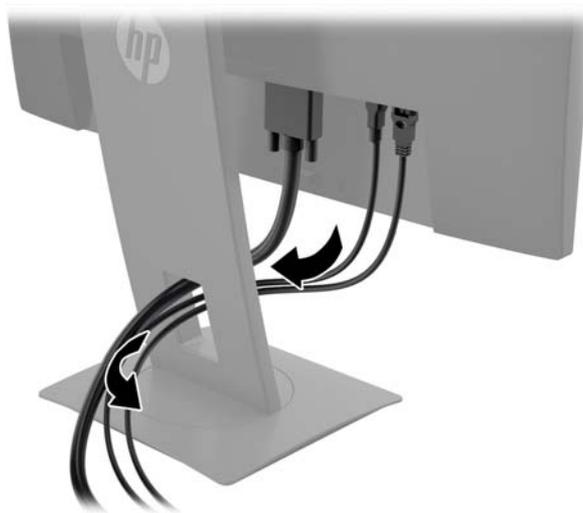
3. スタンドのマウントプレート下部をくぼみに挿入し(2)、カチッという音がするまで押し込みます。
4. スタンドが所定の位置に固定されると、ラッチ(3)が飛び出します。



ケーブルの接続

 **注記:** モニターには一部のケーブルが付属しています。このセクションで示されているケーブルの中には、モニターに付属していないものもあります。

1. コンピューターの近くの作業がしやすく通気の良い場所にモニターを置きます。
2. ケーブルを接続する前に、ケーブルをスタンド中央のケーブル配線穴に通しておきます。

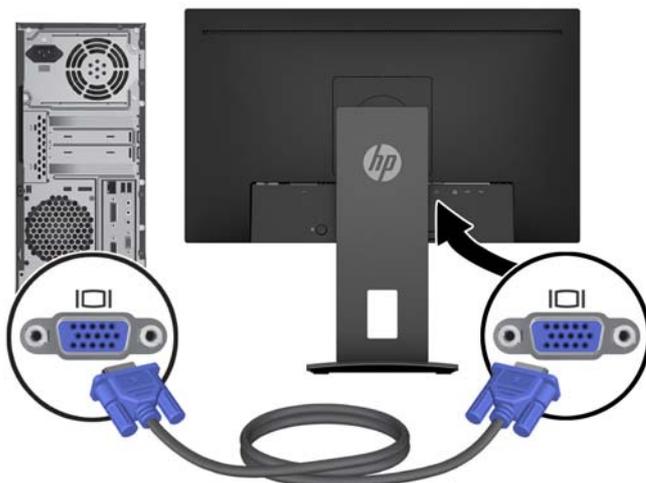


3. ビデオケーブルを接続します。

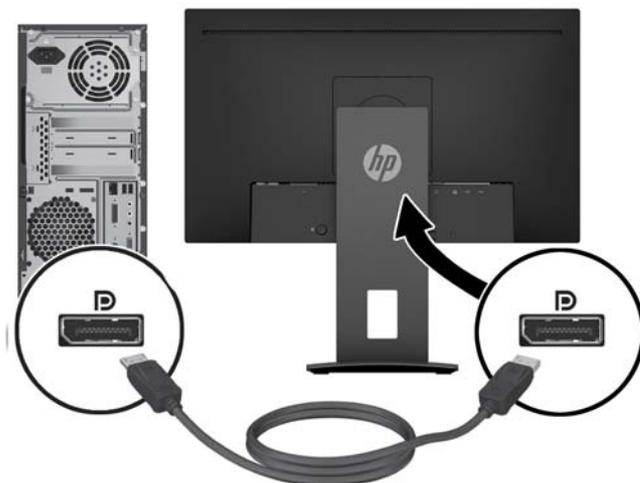
 **重要:** 同時に複数のビデオケーブルを接続すると、動作に不具合が生じてモニターに画像が表示されなくなるおそれがあります。コンピューターとモニターを接続するときは、1種類のビデオケーブルで接続してください。別の方法に変更する場合は、使用しないケーブルを取り外してください。

 **注記**：入力系統から、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。手動でビデオ入力信号を選択するには、メニュー ボタンを押してオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューにアクセスし、**[入力コントロール]**を選択します。

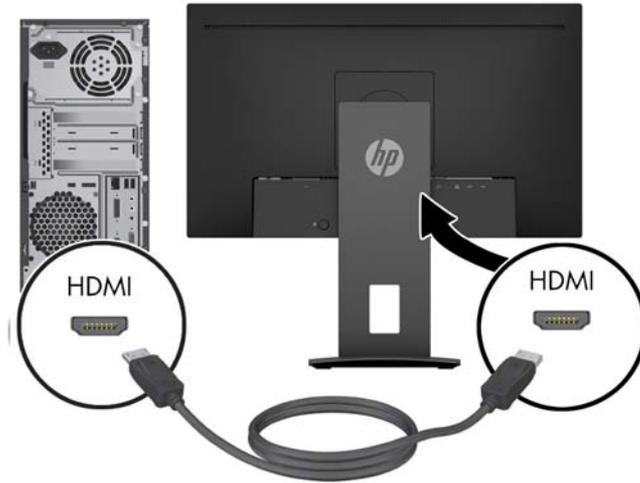
- VGA ケーブルの一方の端をモニターの背面のアナログ RGB ミニ D-sub15 ピン コネクタに接続し、もう一方の端を入力デバイスのアナログ RGB ミニ D-sub15 ピン コネクタに接続します。



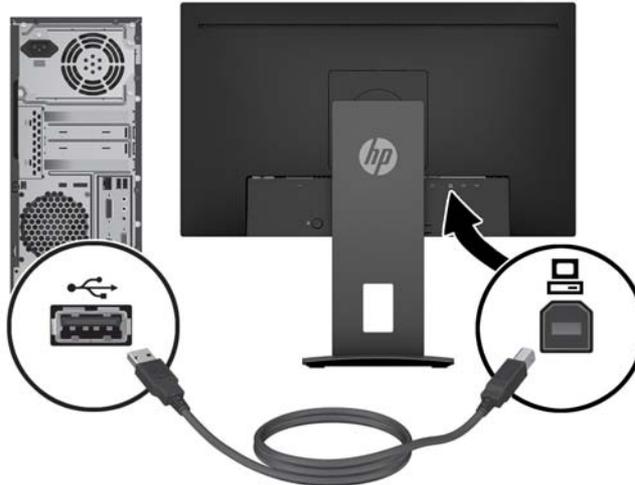
- DisplayPort ケーブルの一方の端をモニターの背面の DisplayPort に接続し、もう一方の端を入力デバイスの DisplayPort に接続します。



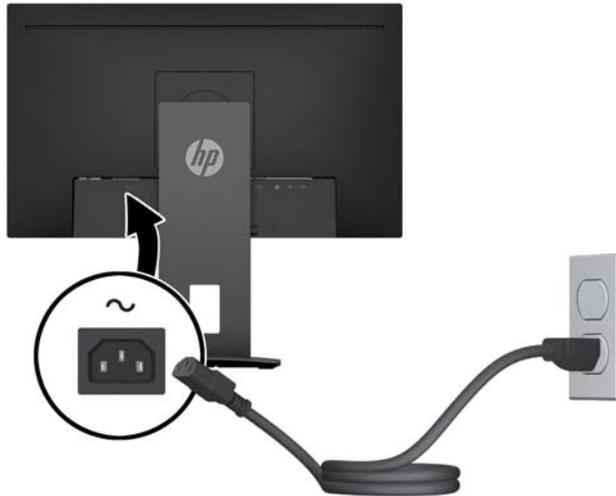
- HDMI ケーブルの一方の端をモニターの背面の HDMI 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスの HDMI 出力端子に接続します。



4. USB アップストリーム ケーブルのタイプ B コネクタをモニターの背面の USB アップストリームポートに接続してから、ケーブルのタイプ A コネクタを入力デバイスの USB ダウンストリームポートに接続します。



5. 外部電源コードの一方の端をモニターの背面の電源コネクタに接続して、もう一方の端を電源コンセントに接続します。



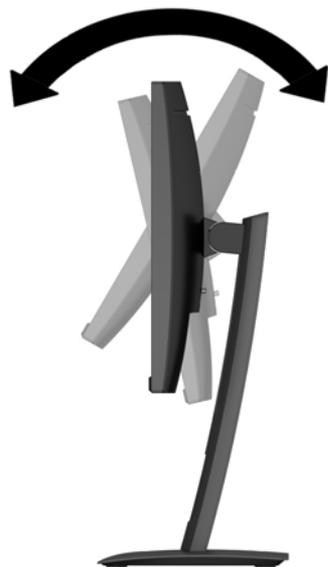
⚠ 警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は重要な安全機能です。
- 電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアース（接地）された電源コンセントに差し込んでください。
- 製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

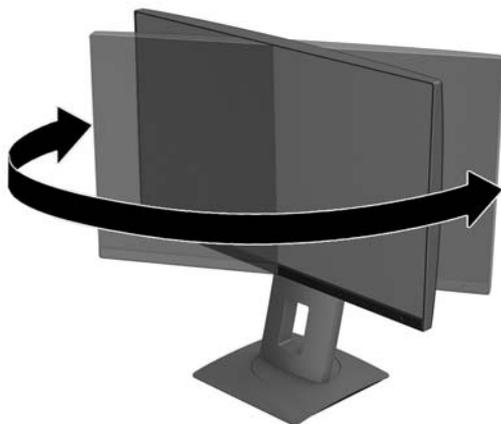
安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。電源コードを電源コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

モニターの調整

1. ディスプレイ本体を前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。



2. ディスプレイ本体を左または右に回転させて、最適な表示角度に設定します。

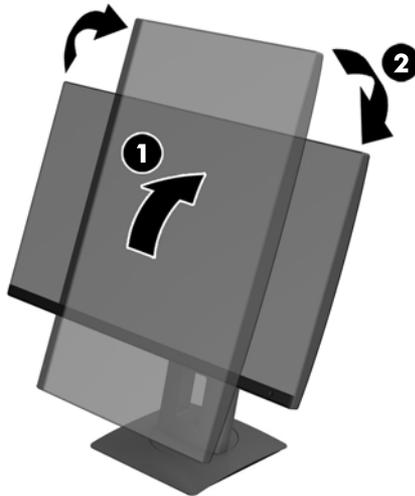


3. モニターの高さを、作業環境に合った見やすい位置に調整します。モニターパネルの上端は、目の高さを超えないようにしてください。眼鏡やコンタクトレンズなどを使用している場合は、モニターの位置を低くし、傾ける方が作業しやすい場合があります。作業時の姿勢を調整した場合は、モニターの位置も必ず調整しなおしてください。



4. 必要に応じて、ディスプレイ本体の表示方向を横向きから縦向きに回転できます。
- ディスプレイ本体が最も高い位置になるように調整してから、完全に後方に傾いた位置まで傾斜角度を調整します (1)。
 - ディスプレイ本体を時計回り/反時計回りに 90°回転させて、横向きから縦向きに変更します (2)。

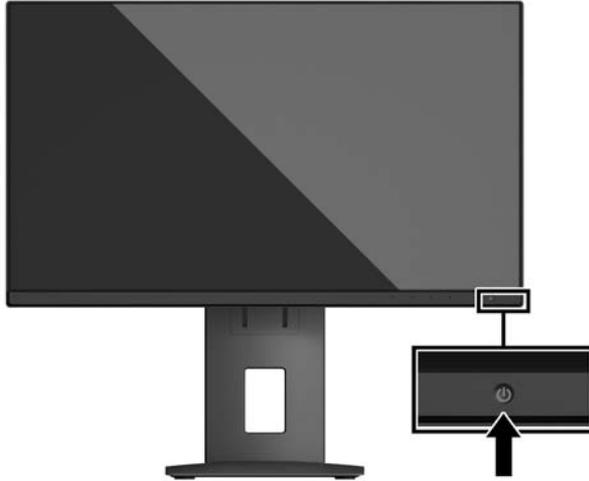
△ 注意：回転させるとき、モニターが最も高い位置で完全に後ろに傾斜していないと、ディスプレイ本体の右下隅がスタンドに接触するため、モニターが損傷するおそれがあります。



📖 注記：情報を縦向きに表示するには、『Software & Documentation』（ソフトウェアおよびドキュメンテーション）オプティカルディスクに収録されている[HP Display Assistant]ソフトウェアをインストールします。オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの配置も縦向きに変更できます。OSDメニューを回転するには、フロントパネルにあるメニューボタンを押し、メニューから**[OSD Control]**（OSD コントロール）→**[OSD Rotation]**（OSD 回転）の順に選択して、OSDメニューにアクセスします。

モニターの電源投入

1. モニターの背面にある主電源スイッチをオンの位置に設定します。
2. コンピューターの電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。
3. モニターのフロントパネルにある電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。



△ 注意： モニターを使用しない状態が 12 時間以上経過して、同じ静止画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニター画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべての LCD 画面で発生する可能性がありますが、一定の時間が経過すると自然に消えます。画面に「焼き付き」が生じてしまったモニターは、HP の保証の対象外です。

📖 注記： 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニターの電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。

📖 注記： 電源ランプはオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで無効にできます。モニターのフロントパネルのメニューボタンを押して、[電力コントロール]→[電源ランプ]→[オフ]の順に選択します。

モニターの電源が入ると、モニターステータスメッセージが 5 秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブなビデオ入力信号、ソース自動切り換え設定のステータス (オンまたはオフ、初期設定はオン)、現在のプリセット画面解像度、および推奨されるプリセット画面解像度が示されます。

モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画像を表示します。

しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー

IPS モデルのモニターは、非常に広い視野角と高画質を実現する IPS (In-Plane Switching) ディスプレイ技術で設計されています。IPS モニターはさまざまな高画質用途に適しています。ただし、このパネル技術は、静止画像、停止画像、または固定画像を長時間スクリーンセーバーを使用しないで表示するような用途には向いていません。そのような用途には、カメラによる監視、ビデオゲーム、マーケティングロゴ、画面に長時間表示されるテンプレートなどがあります。静止画像は、汚れやしみのように見える画像の焼き付きをモニター画面上に発生させることがあります。

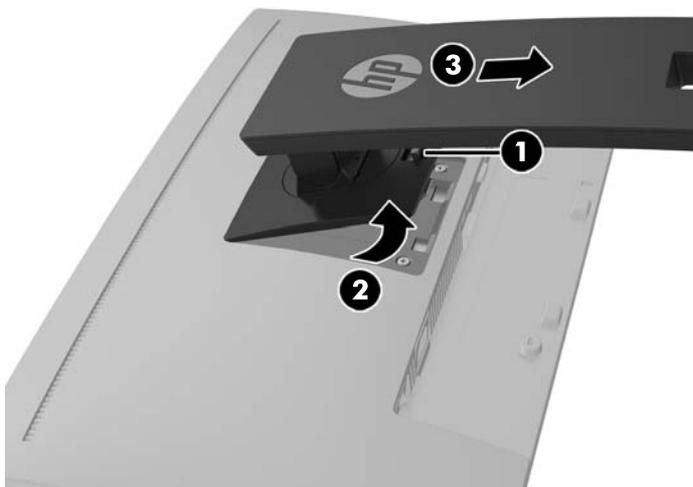
1 日中使い続けたために画像の焼き付きが発生したモニターは、HP の保証の対象外です。画像の焼き付きが発生しないようにするには、モニターを使用しないときは常にモニターの電源を切断するか、電源管理設定を使用して、システムがアイドル状態になるとディスプレイの電源が切断されるようにします (システムでサポートされている場合)。

モニター スタンドの取り外し

ディスプレイ本体からスタンドを取り外して、ディスプレイ本体を壁掛け式にしたり、またはスイングアームやその他の固定器具を取り付けたりすることができます。

△ 注意：モニターの取り外し作業を始める前に、モニターの電源が切られていることおよびすべてのケーブルを取り外してあることを確認してください。

1. モニターからすべてのケーブルを取り外します。
2. モニターの前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
3. モニター下部の中央近くにあるラッチ (1) を押し上げます。
4. スタンドの下部を上方向に回転させ、マウント プレートに隠れていたパネルのくぼみが完全に見えるようにします (2)。
5. スタンドをスライドさせて、くぼみから取り外します (3)。



ディスプレイ本体の取り付け

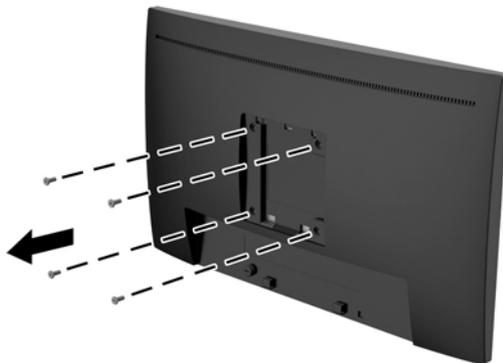
ディスプレイ本体は、壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

 **注記：**この装置は、UL または CSA 準拠の壁への取り付け器具で支えられるように設計されています。

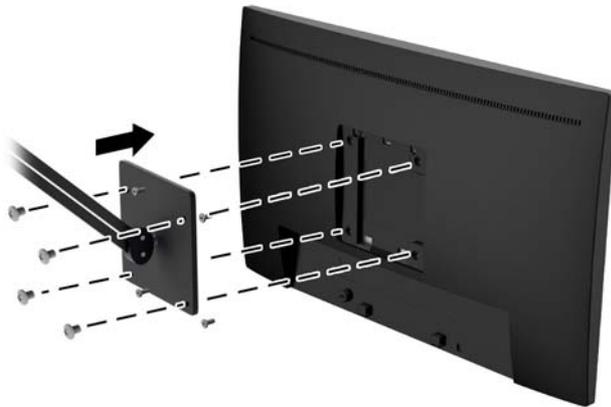
モニター TCO 認定を受けている場合、ディスプレイ本体に接続する電源コードはシールドされた電源ケーブルである必要があります。シールドされた電源ケーブルの使用は、ディスプレイ製品の TCO 認定基準を満たしています。TCO 要件について詳しくは、<http://www.tcodevelopment.com/>（英語サイト）を参照してください。

 **注意：**このモニターは、VESA 準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴をサポートします。このディスプレイ本体に他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 10 mm のネジを使用する必要があります。これより長いネジは、ディスプレイ本体を損傷するおそれがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していること、およびディスプレイ本体の質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオケーブルを使用してください。

1. スタンドからディスプレイ本体を取り外します。[12 ページのモニター スタンドの取り外し](#)を参照してください。
2. ディスプレイ本体の背面にある VESA 基準の取り付け穴から 4 つのネジを取り外します。

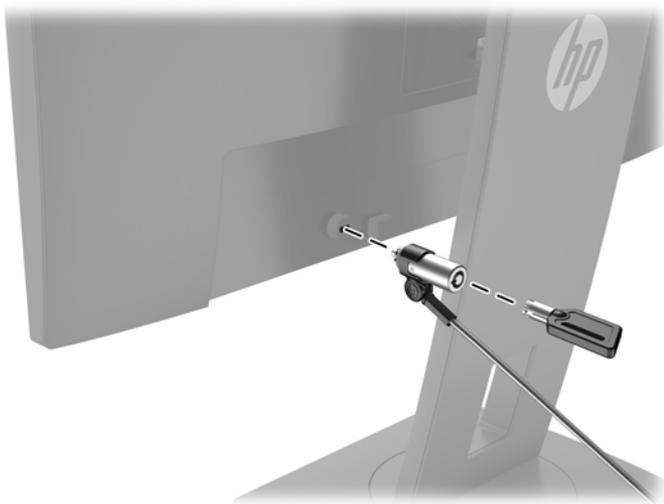


3. ディスプレイ本体の背面にある VESA 基準の取り付け穴から取り外した 4 つのネジを使って、マウントプレートを所定の壁またはスイングアームに取り付けます。



セキュリティ ロック ケーブルの取り付け

別売のロックケーブルを使用して、モニターを固定物に固定できます。



2 モニターの使用

ソフトウェアおよびユーティリティ

モニターに付属のオプティカルディスクには、コンピューターにインストール可能な以下のファイルが収録されています。

- .INF（情報）ファイル
- .ICM（Image Color Matching）ファイル（調整済みの色空間ごとに1つ）

情報ファイル

.INF ファイルは、モニターとお使いのコンピューターのグラフィックスアダプターとの互換性を確保するために、Microsoft® Windows®オペレーティングシステムが使用するモニターリソースを定義します。

このモニターは Microsoft Windows プラグアンドプレイ機能に対応しており、.INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグアンドプレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックスカードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックスカードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグアンドプレイ機能は利用できません。

Image Color Matching ファイル

.ICM ファイルはグラフィックスプログラムとともに使用されるデータファイルで、モニターとプリンター間またはスキャナーとモニター間の色調を調整します。このファイルは、プロファイルをサポートするグラフィックスプログラムの実行時に有効になります。

 **注記：** .ICM のカラープロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基いて記述されています。

.INF および.ICM ファイルのインストール

.INF および.ICM ファイルを更新する必要がある場合は、これらのファイルをオプティカルディスクからインストールするか、Web サイトからダウンロードしてインストールできます。

オプティカルディスクからのインストール

.INF および.ICM ファイルをオプティカルディスクからコンピューターにインストールするには、以下の操作を行います。

1. オプティカルディスクをコンピューターのオプティカルドライブに挿入します。オプティカルディスクのメニューが表示されます。
2. **[HP Monitor Software Information]**（HP モニターソフトウェア情報）ファイルを読みます。
3. **[Install Monitor Driver Software]**（モニタードライバーソフトウェアをインストールする）を選択します。

4. 画面の説明に沿って操作します。
5. Windows の[画面のプロパティ]に適切な解像度およびフレッシュレートが表示されていることを確認します。

 **注記:** インストール時にエラーが発生した場合は、デジタル署名されているモニターの.INF および.ICM ファイルを手動でインストールする必要があります。オプティカルディスクに収録されている[HP Monitor Software Information]ファイルを参照してください。

Web サイトからのダウンロード

オプティカルドライブを搭載したコンピューターまたは入力デバイスがない場合は、以下の操作を行って、最新バージョンの.INF および.ICM ファイルを HP のディスプレイのサポート Web サイトからダウンロードします。

1. HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスします。
2. **[ドライバー & ダウンロード]**を選択し、お使いのモニターのモデルを**[検索]**フィールドに入力して、**[検索]**をクリックします。
3. 必要に応じて、一覧からモニターを選択します。
4. オペレーティングシステム (OS) を選択し、**[次へ]**をクリックします。
5. **[ドライバー - ディスプレイ]**をクリックし、ドライバーの一覧を開きます。
6. ドライバーをクリックします。
7. **[システム要件]**タブをクリックし、システムがプログラムの最小要件を満たしていることを確認します。
8. **[ダウンロードを開始する]**をクリックし、画面の説明に沿ってソフトウェアをダウンロードします。

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを使用して、好みに応じてモニターの画面表示を調整します。モニターのフロントパネルにあるボタンを使用して OSD メニューにアクセスし、調整を行うことができます。

OSD メニューにアクセスして調整するには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. OSD メニューにアクセスするには、フロントパネルにある 4 つのボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、メニュー ボタンを押して OSD を表示します。
3. 3 つの機能ボタンを使用すると、メニュー項目の移動、選択、および調整を実行できます。ボタンのラベルは、有効になっているメニューまたはサブメニューによって変わります。

以下の表に、OSD メニューのメニュー項目を示します。

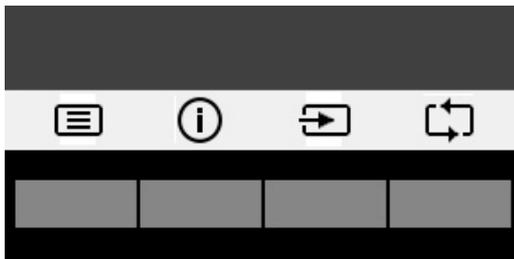
メインメニュー	説明
輝度	画面の輝度を調整します
コントラスト	画面のコントラストを調整します
カラーコントロール	画面の色を選択および調整します

メインメニュー	説明
入力コントロール	ビデオ入力信号を選択します
イメージコントロール	画像を調整します
電力コントロール	電源設定を調整します
メニューコントロール	OSD メニューおよび機能ボタンのコントロールを調整します
マネージメント	DDC/CI サポートを有効または無効にして、すべての OSD メニュー設定を工場出荷時の初期設定に戻します
言語	OSD メニューを表示する言語を選択します。工場出荷時の初期設定言語は英語です
情報	モニターに関する重要な情報を表示します
終了	OSD メニュー画面を終了します

機能ボタンの割り当て

フロントパネルにある4つのボタンのどれかを押すと、ボタンが有効になり、ボタンの上にアイコンが表示されます。工場出荷時の初期設定のボタンのアイコンおよび機能を以下に示します。

VGA（アナログ）のアクティブな入力の場合、初期設定のボタンのアイコンおよび機能は以下のとおりです。



ボタン	機能
1 メニュー	オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューが表示されます
2 情報 (機能ボタン1: 割り当て可能)	情報メニューが表示されます
3 次のアクティブな入力 (機能ボタン2: 割り当て可能)	モニターの入力ソースが次のアクティブな入力に切り替わります
4 自動調整ボタン (機能ボタン3: 割り当て可能)	自動調整機能を実行します

アクティブなデジタル入力の場合、初期設定のボタンのアイコンおよび機能は以下のとおりです。



ボタン	機能
1 メニュー	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが表示されます
2 情報 (機能ボタン 1: 割り当て可能)	情報メニューが表示されます
3 次のアクティブな入力 (機能ボタン 2: 割り当て可能)	モニターの入力ソースが次のアクティブな入力に切り替わります
4 輝度 (機能ボタン 3: 割り当て可能)	輝度の調整用スケールが表示されます

機能ボタンを初期設定から変更し、ボタンが有効になったときに、頻繁に使用するメニュー項目にすばやくアクセスできるようにすることができます。

機能ボタンを割り当てるには、以下の操作を行います。

1. フロントパネルにある4つのボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、メニュー ボタンを押して OSD メニューを表示します。
2. OSD メニューで、【メニューコントロール】→【ボタンの割り当て】の順に選択し、割り当てるボタンで使用可能なオプションをどれか選択します。

 **注記:** 割り当てることができる機能ボタンは3つのみです。メニュー ボタンおよび電源ボタンは割り当てなおすことができません。

自動スリープモードの使用

このモニターは、モニターの省電力状態を有効または無効にすることができる、【自動スリープモード】というオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューのオプションをサポートしています。自動スリープモードが有効になっている場合 (初期設定で有効)、ホスト PC から低電力モードの信号 (水平同期信号と垂直同期信号のどちらかが検出されない状態) を受け取ると、モニターは省電力状態になります。

省電力状態 (スリープモード) になると、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この状態のモニターの消費電力は 0.5 W 未満です。ホスト PC からアクティブな信号を受け取ると (ユーザーがマウスやキーボードを操作した場合など)、モニターはスリープモードから復帰します。

自動スリープモードは OSD メニューで無効にできます。フロントパネルにある4つのボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、メニュー ボタンを押して OSD メニューを表示します。OSD メニューで、【電力コントロール】→【自動スリープモード】→【オフ】の順に選択します。

3 サポートおよびトラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	原因	解決方法
画面に何も表示されな いか、画像が点滅する	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	電源ボタンがオフになっ ている	フロントパネルの電源ボタンを押します 注記 ：電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを10秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします
	主電源スイッチがオフになっ ている	モニターの背面にある主電源スイッチをオンの位置に設定します
	ビデオケーブルが正しく接続 されていない	ビデオケーブルを正しく接続します。詳しくは、 5ページのケーブルの接続 を参照してください
	システムがスリープモードに なっています	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、スリープモードを終了します
ビデオカードに互換性がない	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いて、 [入力コントロール] メニューを選択します。 [自動切替入力] を [オフ] に設定し、手動で入力を選択します	
画像がぼやけている、不 鮮明、または暗すぎる	輝度が低すぎる	OSDメニューを開いて [輝度] を選択し、必要に応じて輝度スケールを調整します
[入力信号が見つかりま せんでした] というメッ セージが画面に表示さ れる	モニターのビデオケーブルが 外れている	適切なビデオ信号ケーブルで、コンピューターとモニターを接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
	ビデオ信号がない	コンピューターからビデオ信号が送信されていることを確認してください
[入力信号が範囲外] とい うメッセージが画面に 表示される	ビデオ解像度やリフレッシュ レートが、モニターがサポート するレベルを超えるレベルに 設定されている	サポートされている値に設定値を変更します。詳しくは、 27ページのプリセットディスプレイ解 像度 を参照してください
モニターの電源は切れ るが、スリープモードに は移行していないよう に見える	モニターの省電力機能が無効 になっている	OSDメニューを開き、 [電力コントロール] → [自動ス リープモード] の順に選択して、自動スリープを [オ ン] に設定します
[OSD Lockout] と画面に 表示される	モニターの OSD ロックアウト 機能が有効になっている	フロントパネルの メニュー ボタンを10秒程度押し続けて、OSDメニューのロックを解除します
[Power Button Lockout] と画面に表示される	モニターの電源ボタンのロッ クアウト機能が有効になっ ている	電源ボタンを10秒程度押し続けて、電源ボタンの ロックアウト機能を無効にします

自動調整機能の使用（アナログ入力）

初めてモニターを設定する場合や、コンピューターを工場出荷状態にリセットしたり、モニターの解像度を変更したりする場合は、自動調整機能によって自動的に画面の最適化が行われます。

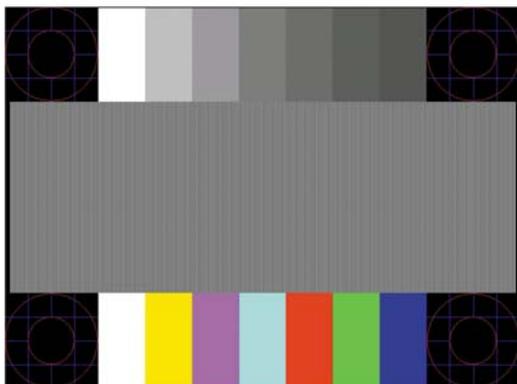
モニターの自動調整ボタンおよび付属のオプティカルディスクに収録されている自動調整用パターンソフトウェアユーティリティ（一部のモデルのみ）を使用して、VGA（アナログ）入力対応の画面の画質を最適化することもできます。

お使いのモニターがVGA入りに未対応の場合は、この操作を行わないでください。お使いのモニターがVGA（アナログ）入力対応の場合は、この操作を行うことで以下の画質状況が修正されます。

- ぼやけて不明瞭な焦点
- ゴースト、線、および影の表示
- 薄い縦線
- 画面上を上下に移動する横線
- 中心がずれて表示される画像

自動調整機能を使用するには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源を入れてから 20 分間のウォームアップ時間をとります。
2. モニターのフロントパネルにある自動調整ボタンを押します。
 - メニューボタンを押し、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューから **[Image Control]**（イメージコントロール）→ **[Auto-Adjustment]**（自動調整）の順に選択することもできます。
 - 期待する結果が得られない場合は、引き続き以下の操作を行います。
3. オプティカルディスクをオプティカルドライブに挿入します。オプティカルディスクのメニューが表示されます。
4. **[Open Auto-Adjustment Utility]**（自動調整ユーティリティを開く）を選択します。セットアップのためのテストパターンが表示されます。
5. モニターのフロントパネルにある自動ボタンを押して、画像を安定させ中央に表示します。
6. **Esc** キーまたはキーボードの任意のキーを押して、テストパターンを終了します。



 **注記：**自動調整用テストパターンユーティリティは、<http://www.hp.com/jp/support/> からダウンロードできます。

画質の最適化（アナログ入力）

オンスクリーンディスプレイ（OSD）のメニューの[Clock]（クロック）および[Phase]（フェーズ）を調節して、画質を向上させることができます。

 **注記：** [Clock]および[Phase]はアナログ（VGA）入力を使用している場合にのみ調整できます。デジタル入力ではこれらの機能は調整できません。

[Phase]の設定は[Clock]の設定に影響されるので、最初に[Clock]を正しく設定しておく必要があります。自動調整機能を使用しても期待する画質が得られない場合にのみこれらの機能を使用してください。

- **[Clock]**：画面に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。
- **[Phase]**：画像のちらつきやかすみを最小限に抑えます。

 **注記：** これらの調整を行う場合は、オプティカルディスクに収録されている自動調整用のソフトウェアユーティリティを使用すると最適な結果が得られます。

[Clock]および[Phase]の設定値を調整しているときにモニターの画像が歪む場合は、歪みがなくなるまで調整を続けます。工場出荷時の設定に戻すには、OSDメニューの[Factory Reset]（出荷時設定にリセット）から[Yes]（はい）を選択します。

縦線を除去するには、以下の操作を行います（クロック）。

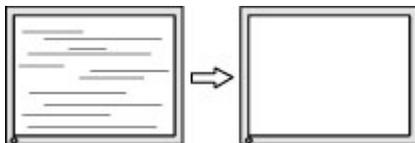
1. モニターのフロントパネルの**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを表示し、**[Image Control]**（イメージコントロール）→**[Clock and Phase]**（クロックとフェーズ）の順に選択します。
2. モニターのフロントパネルにある、上向き矢印および下向き矢印のアイコンを表示する機能ボタンを使用して、縦線を除去します。最適に調整されるポイントが過ぎてしまわないように、ボタンをゆっくりと押します。



3. クロックを調整しても画面にかすみ、ちらつき、線などが表示される場合は、続いてフェーズを調整します。

ちらつきやかすみを除去するには、以下の操作を行います（フェーズ）。

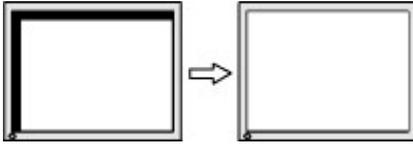
1. モニターのフロントパネルの**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを表示し、**[Image Control]** →**[Clock and Phase]**の順に選択します。
2. モニターのフロントパネルにある、上向き矢印および下向き矢印のアイコンを表示する機能ボタンを押して、ちらつきやかすみを除去します。コンピューターまたは取り付けられているグラフィックスコントローラーカードによっては、ちらつきやかすみが除去されないことがあります。



画面の位置を調整するには、以下の操作を行います（水平表示位置または垂直表示位置）。

1. モニターのフロントパネルの**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを表示し、**[Image Position]**（画面の位置）を選択します。

2. モニターのフロントパネルにある、上向き矢印および下向き矢印のアイコンを表示する機能ボタンを押して、モニターの表示領域内で画像が適切な位置に表示されるように調節します。
[Horizontal Position]（水平表示位置）では画像を左右に移動し、[Vertical Position]（垂直表示位置）では画像を上下に移動します。



ボタンのロックアウト

電源ボタンまたはメニューボタンを10秒程度押し続けると、ボタンの機能がロックアウトされます。機能を復元するには、ボタンをもう一度10秒間押し続けます。この機能は、モニターの電源が入っていて、アクティブな信号が表示されており、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューが閉じている場合のみ使用できます。

製品サポート

モニターの使用について詳しくは、HPのサポートWebサイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして[製品サポート/保守情報]を選択してから、お使いのモデルを検索フィールドに入力して、[検索]ボタンをクリックします。

 **注記：** モニターの説明書、リファレンスガイド、およびドライバーは、<http://www.hp.com/jp/support/> から入手できます。

このガイドに記載されている情報では問題に対処できない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

以下の作業を実行できます。

- HPのサービス担当者とオンラインでチャットする

 **注記：** ご希望の言語がチャットサポートに対応していない場合は、英語でのサポートをご利用ください。

- HPのサポート窓口の電話番号を調べる
- HPのサービスセンターを探す

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、HP のサポート窓口も利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号
- モニターのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン

シリアル番号と製品番号の位置

シリアル番号および製品番号は、ディスプレイ本体の背面上のラベルに記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。

 **注記：** 場合によっては、ラベルを読むためにモニター本体をある程度回転させる必要があります。



4 モニターの保守

保守に関するガイドライン

- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- モニターを使用していないときには、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバープログラムを使用したり、モニターを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニターを長くお使いいただけます。

 **注記：**画面に「焼き付き」が生じてしまったモニターは、HP の保証の対象外です。

- キャビネットの-slotや開口部は通気のために必要です。slotや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニターは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。
- モニター スタンドを取り外すときは、モニターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所に前面を下にして置いてください。

モニターの清掃

1. モニターの電源を切り、コンピューターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 の割合で混合した溶液を使用します。

 **注意：**布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。

注意：ベンゼン、シンナーおよびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

モニターの運搬

モニターを運搬する場合は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の部材を使用してしっかり梱包してください。

A 技術仕様

 **注記:** ユーザーガイドに記載されている製品仕様は、製品の製造から出荷までの間に変更されている場合があります。

この製品の最新の仕様またはその他の仕様について詳しくは、<http://www.hp.com/go/quickspecs/>（英語サイト）にアクセスして、該当するモニターモデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

21.5 インチ（対角長 54.6 cm）モデル

ディスプレイ	21.5 インチ（54.6 cm）ワイドスクリーン
種類	IPS LCD
表示可能画像サイズ	54.6 cm / 21.5 インチ（対角方向）
最大質量（非梱包時）	4.8 kg
寸法（スタンドを含む）	
高さ（最も高い位置のとき）	47.7 cm
高さ（最も低い位置のとき）	31.9 cm
奥行き	18.9 cm
幅	48.8 cm
最大グラフィックス解像度	1920×1080
最適グラフィックス解像度	1920×1080
環境条件 動作保証温度：	
動作時	5 ~ 35°C
保管時	-20 ~ 60°C
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
入力端子	HDMI 入力端子×1、DisplayPort×1、VGA コネクタ×1

23 インチ（対角長 58 cm）モデル

ディスプレイ	23 インチ（58 cm）ワイドスクリーン
種類	IPS LCD
表示可能画像サイズ	58 cm / 23 インチ（対角方向）
最大質量（非梱包時）	5.0 kg
寸法（スタンドを含む）	
高さ（最も高い位置のとき）	48.7 cm
高さ（最も低い位置のとき）	32.8 cm
奥行き	18.9 cm
幅	52.1 cm
最大グラフィックス解像度	1920×1080
最適グラフィックス解像度	1920×1080
環境条件 動作保証温度：	
動作時	5 ~ 35°C
保管時	-20 ~ 60°C
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
入力端子	HDMI 入力端子×1、DisplayPort×1、VGA コネクタ×1

プリセットディスプレイ解像度

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのディスプレイで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

21.5 インチ（対角長 54.6 cm）モデルおよび 23 インチ（対角長 58 cm）モデル

プリセット	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.469	59.940
2	800×600	37.879	60.317
3	1024×768	48.363	60.004
4	1280×720	45.000	60.000
5	1280×800	49.702	59.810
6	1280×1024	63.981	60.020
7	1440×900	55.935	59.887
8	1600×900	60.000	60.000
9	1680×1050	65.290	59.954
10	1920×1080	67.500	60.000

ユーザーモードの使用

以下のような場合、ビデオコントローラーから送られてくる信号がプリセットモードと一致しないことがあります。

- 標準グラフィックスアダプターを使用していない場合
- 標準グラフィックスアダプターを使用しているがプリセットモードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーンディスプレイメニューでモニターのパラメーターを再調整する必要があります。変更は、適用したいモードすべてに対して行うことができ、メモリに保存されます。モニターには新しい設定が自動的に保存され、この新しいモードはプリセットモードと同様に自動的に認識されます。プリセットモードの他に、10以上のユーザーモードを新しく登録して保存できます。

省電力機能

このモニターでは、省電力状態がサポートされます。水平同期信号または垂直同期信号が検出されない場合、モニターは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態時のモニターの消費電力は0.5 Wです。短時間のウォームアップ後に通常の動作モードに戻ります。

省電力機能の設定の手順について詳しくは、コンピューターに付属の説明書を参照してください（省電力機能は、エネルギーセーブ機能、パワーマネージメント機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります）。

 **注記：**上記のモニターの省電力機能は、省電力機能に対応するコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。

モニターのエネルギーセーブユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニターが省電力状態になるように設定することもできます。モニターのエネルギーセーブユーティリティによってモニターが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

B ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせて機能するようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、モニターに接続されているお使いの入力デバイスの検索機能を使用してください。

 **注記**：特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。